



糖尿病通信

—8—

糖尿病と上手にお付き合いするために

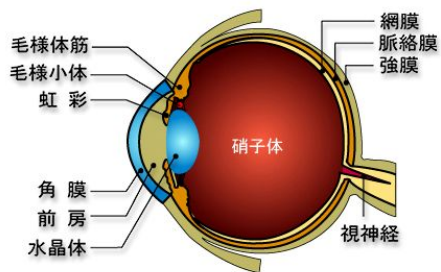
糖尿病と目の合併症 その1 網膜症

糖尿病の3大合併症のひとつに網膜症があります。

1. 糖尿病の3大合併症とは？

糖尿病のコントロールが悪い状態が続くと、細い血管の異常が現れてきます。これによって起こる合併症を細血管合併症といい、腎症、神経障害と共に、目に起こる網膜症はその代表的なものです。

2. 網膜はどこにあるのでしょうか？



カメラで言えば、フィルムにあたる部分が**網膜**です。網膜の中心に**黄斑**と呼ばれる場所があり、物を見る時、主にこの部分を使います。黄斑の鼻側に視神経が束になった部分があり、**視神経乳頭**と呼びます。

眼科で散瞳して見た右の眼底。ピンクの部分が**網膜**。中心の茶色い部分が**黄斑**、右の白い部分



が**視神経乳頭**。線状に黒く見えるのは**血管**。

3. 高血糖が続くと網膜に起こるのは？

高血糖が続くと網膜の細小血管が障害され、血行不良となります。また、毛細血管が弱くなりこぶができたり、出血しやすくなります。この段階を**単純網膜症**といいます。網膜にむくみがおこり、血行が途絶えた部分に新しい血管が作られますが、不完全な弱い血管なので出血しやすく更に病状を悪化させ、**増殖性網膜症**という危険な状態になります。出血が黄斑部に起こると、少量でも視力が低下しますし、硝子体(しょうたい:液体が詰まっている)の中に起こると、視野の中を黒い影が動く飛蚊症(ひぶんしょう)と呼ばれる症状になったり、急激に視力が落ちたりします。出血と血管新生を繰り返すうち、次第に引きつれが起こり、硝子体と引っ張り合う形で網膜がはがれてきます(**網膜はく離**)。こうなると非常に視力が低下し、失明に至ります。毎年3000人が糖尿病により失明しています。

4. 予防するには？

血糖のコントロールを良くしておくことが必要です。高血糖が長く続くと、必ず起こってくる合併症だからです。HbA1cが6.5以下に保たれた場合、網膜症のような細小血管合併症を起こしにくいことがわかったので、血糖のコントロール目標を**HbA1c6.5**以下としたのです。

5. 治療について

網膜症の治療と、他の目の合併症は9号で！

内科 柳澤

スタッフ紹介



糖尿病療養指導士
臨床検査技師 鈴木です。
検査についてなんでも
聞いてくださいね。
採血コーナーにいます。

自己血糖測定器のご紹介



メディセーフ・ミニ(テルモ)



エクストラ(アボット)



プレジジョン・エクシード(アボット)

電池は消耗品です。定期検査科にて、測定器の無料チェックサービスを行っております。使い方に不安のある方もどうぞ採血コーナーまで。
検査科 鈴木

当院での採用機種です。従来のエクストラを小型軽量化した新機種**プレジジョン・エクシード**ができました。ご希望の方は無料で交換できます。主治医または検査科までお申し出ください。これから寒い時期になります。機器は温度変化に敏感です。適温(10~35℃)です。もし適温外の場所に保管していたら、20分程度なじませてから測定してください。